

掛田自治協議会からのお知らせ

掛田の広場



第44号
2025年12月25日
掛田自治協議会
＜発行責任者＞
会長 森久保操



今年も掛田地区「敬老会」は9月20日(土)いつものように霊山中央交流館大ホールで行われました。伝統ある掛田婦人会が長年行ってきた敬老会を掛田自治協議会が引き継ぎ、地域の為に貢献できた高齢者の皆さんへの感謝・長寿を祝う会です。

来賓の方々から祝辞を頂き、めでたく米寿を迎えられた方の紹介と記念品の贈呈、そして米寿表彰者を代表し佐藤隆昭様から思い出話を交えたお礼のあいさつを頂きました。続いて「だてももさん」のマジック、ジャグリングの楽しいアトラクション、霊山太鼓保存会による霊山太鼓の演奏と大いに盛り上げていただきました。

お帰りには参加者全員に「うまか亭のお弁当」、「紅白饅頭」が

敬老会開催



念品のコンパクトな「折り畳み日傘」の贈呈もあり出席者の皆さんに大いに喜んでいただきました。また来年も元気なお顔を見せてください。今年も地域の多くの皆さんと、旧婦人会の皆さんのご協力を頂きありがとうございました。

掛田自治協議会の各部会では地域の皆さんの健康と安全、賑わいと工夫しながら活動しています。掛田の未来のため若い方々のご協力、ご参加、ご意見もよろしく願います。

掛田自治協議会副会長
佐藤 吉彦

第53回霊山町文化祭

去る11月1、2日の2日間霊山中央交流館、霊山体育館において第53回霊山町文化祭が秋晴れの中で開催されました。

1日は芸能発表会が行われ11団体が日頃の練習の成果を発表され、客席には初めから終りまで見ていた方が多くいらしやうでした。途中、伊達市長の手話を交えたご挨拶もあり、伊達市が「手話言語条例」を制定している事がうかがえました。

展示発表は1日、2日の両日にわたり、日本画、生け花、陶芸、小中学生の力作が展示され、同時に掛田自治協議会主催の「カンナの彩る街」掛田」フォトコンテスト

第41回霊山町シルバー作品展について

高齢者の生きがいの一つに「趣味の作品作り」があります。切り絵、編み物から農産物、造形物など多岐にわたります。これらの作品を多くの方に紹介していただくことと行われるのが「シルバー作品展」です。例年霊山町文化祭と同時開催しており、今年は11月1、2日に霊山体育館で開催されました。今年シルバ作品展も様々な作品が出品され、出品数は336点(団体作品9点含む)でした。

伊達市長賞には、掛田第5松寿会の伊勢良勝さんの人工盆栽「長寿の松」でした。本物と見まがう盆栽の姿が表現されています。紙、紐、紙などで球形を表した造形の「おぼろ月夜」(掛田第2松寿会)、日



赤霊山分区分長賞には、スリッピーの制作した大石養生会の黒澤節子さんの他、26の賞が贈られました。

協賛していただいている、関係企業・団体の皆様には高齢者が生きがいづくりへの協力を頂いており、この場を借りて感謝申し上げます。

霊山町老人クラブ連合会庶務
八島 豊吉

ト」の表彰式が行われました。

3連休中の開催で来場者は昨年比で少なかったのが残念でしたが、来年も同じ時期に開催予定ですので、皆様、作品作りや練習など会員同士との交流も楽しみながらサークル活動をしていくください。

霊山町文連協事務局
齋藤 美和



世代を超えた交流の場所に



J Aふくしま未来は10月11日(土)、J Aのみらいホールからけだで、こども食堂・みんなの食堂「よりそい食堂」より「うげん」を開きました。食堂は、女性部員が運営し、こどもや地域の方々の居場所づくりを目的に食堂形式で毎月第2土曜日のお昼の時間に開催しています。組合員や地域の方々から寄付いただいた農産物や国産の食材を使用し、季節の料理、郷土料理を取り入れた食事を提供しています。10月は、わかめご飯、とん汁、手作りのカボチャとポテトコロッケ、いんげんのごま和え、リンゴゼリーなどフードドライブで寄付いただいた旬の野菜もふんだんに使い調理しました。会場では、スタッフが食べられる量を聞きながら食事を提供しています。来場した方々は食事をした後もゆつくりおしゃべりを楽しんだり、つしやいました。親子で訪れた方は「いつもおいしくいただいています。毎月楽しみにしています。とっこり。よりそい食堂代表の阿部真子さんは「どなたでも利用できるので、たくさんの方に利用してほしい。」と話します。

～イベントのお知らせ～

- 普通救命講習
2月20日(金) 午前9時～
場所：霊山中央交流館
主に成人を対象とした講習を開催します。
- 茶白山探鳥会
3月1日(日) 午後1時～
場所：茶白山ネイチャーセンター(旧・季節保育所)
- おしゃべりサロン
3月13日(金) 午前10:00～
場所：霊山中央交流館
- 霊山中央交流館自衛消防訓練
3月17日(火) 午後14時～
場所：霊山中央交流館
- 子ども食堂
(りょうぜんマルシェ実行委員会 子ども食堂・おいでよ)
1月31日(土)、2月28日(土)、3月28日(土)
午前11時30分～
場所：霊山中央交流館
- 子ども食堂(よりそい食堂・りょうぜん)
1月10日(土)、2月14日(土)、3月14日(土)
午前11時30分～
場所：みらいホール掛田



コラム

今年熊の出没が全国的に急増し、こ伊達市掛田地区でも熊を見たとかの情報もあり、梁川地区では捕獲されています。こうした背景には山の木の实など餌の不作、熊の生息数の増加、マタギ(狩猟者)の減少、さらには温暖化による生態系の変化などが複雑に絡んでいるようです。特に今年は餌不足により熊が人里に下り、農作物や人への被害も深刻化しています。

政府も対策に捕獲体制の強化や警報

編集後記

令和7年を振り返ると、自治会として新たに「カンナの彩る街」掛田」フォトコンテスト」が行われました。手探りの開催にも関わらず町内外から多くの作品が寄せられ、遠くは磐石から掛田まで足を運びカンナで彩る街を観て応募してくださり、とても有難い思いしました。

もう一つの新たな活動として「茶白の里」北側にある旧・季節保育所の活用です。長らく使用することが無かった施設ですが、この建物の中から野鳥を観察できるスポットにしようというものを、お掃除をして草を刈り、誘鳥木(野鳥の好む木)を植え、バードケイキ(野鳥の餌)の木を木にぶら下げてと少しづつ活動を進めています。

商店街も寂しくなった掛田をカンナの花で彩り、野鳥が身近に見ることが出来るスポットが有ること魅力のある街の一助になればと夢見ます。

お問い合わせ先 霊山中央交流館
電話 586-1314 FAX 586-3391
e-mail kakedajichikyougikai@atoros.ocn.ne.jp



の発令等を進めているが、山と里の境がなくなりつつあり、根本的な解決には私たち一人ひとりが自然との距離を考え行動していかなければと思います。寒くなり山奥での冬眠を願っております。

暮にきて、またまたコロナやインフルエンザなど流行の兆しが伝えられています。皆さん健康には充分注意され、明るい新年を迎えられますようにお祈りいたします。

掛田自治協議会副会長 佐藤 吉彦

カンナの彩る街 『掛田』フォトコンテスト

11月1日(土) 霊山町文化祭に於いて「カンナの彩る街『掛田』」フォトコンテスト」表彰式を行いました。

審査会は10月7日(火)、審査員に福島写真連盟副会長長足信実様、伊達市役所霊山総合支所長高橋剛樹様を迎え厳正なる審査が行われました。

応募規定「掛田地区のカンナが写っている作品」に準じて町内外から寄せられた応募作品72点から最優秀賞1点、優秀賞3点が選ばれ、最優秀賞に丹治美樹子様の「愛宕山をのぞむカンナ」、優秀賞には三浦勝秋様の「カンナと赤ずきん」、後藤修三様の「帰りの道・毛利周 様の「秋澄む頃に」の作品3点が選ばれました。また、丹精込めて育てたカンナの花で彩った最優秀花壇賞には伊勢良勝様の花壇が選ばれました。受賞された皆様おめでとうございます。また応募された多くの皆さまありがとうございます。

カンナで彩る街を目指して球根を植えたい。育て方手入れの仕方を知りたい。冬越しはどうすれば良いか等知りたい方は掛田自治協議会地域づくり部会までご相談ください。

佐藤 邦宏



先進地視察研修が行われました

11月16日(日)、掛田自治協議会の先進地視察研修の地は白河でした。天候にも恵まれ、紅葉の残る秋晴れの良い一日となりました。

初めに向かった小峰城跡では現地ボランティアガイドさんから説明を受け、文化5年(1808年)など、当時の城主・松平定信が城内の門・櫓などの37の建物の実測を命じ、それを記録した「白河城御繪図」が、当時の貴重な資料として残っていること、三重櫓はこの絵図や発掘調査を元に、平成3年(1991年)に木造で忠実に復元されたことを学びました。当日担当のボランティアガイドさんは、40年前に日向前団地に住んで居られた方で、お互い縁の繋がり不思議を感じた方です。

第3回「おしゃべりサロン」開催

11月21日(金) 霊山中央交流館のホールにおいて、第3回おしゃべりサロンが開催されました。今回の参加者は17名、各テーブル少人数に分かれ、お茶やお菓子を食べながらの楽しい時間です。恒例となった音楽体操(準備体操)では、皆さんの動きも軽快です。音楽体操の後は霊山・月館包括支援センターの方達による寸劇が行われました。テーマは、「認知症の方への対応」です。物忘れなどの病状が出た時の家族対応で、悪い例と良い例が上演されました。センターの方達の名演技に参加者全員、真剣に見入っておられました。次にスタッフによる語りでは「尻こき嫁」の題で、流暢な福島弁の語りに皆さん笑いに包まれました。

じながら、「丁寧に説明をして頂きました。その後「白河だるまランド」を見学し、昼食を挟み、南湖公園へ。ガイドさんから白河藩主松平定信公が築造した日本最古の公園との説明を聞いてからの見学であって、見る視点も違った公園散策となりました。

最後に農産物直売所、「りさいあん」へ立ち寄り、それぞれ買い物をしました。

秋葉観光のベテランガイドさんのお話しと共に、実りある楽しい研修となりました。

社会教育部会
高橋 香代子



皆と一緒に歌いましょうでは、ステーションに映し出された映像を見ながら全員が手拍子で歌をうたいました。最後は、お楽しみプレゼント抽選会です。ワクワクしながら抽選をして、引き当てた賞品を手に入れた方もおられました。おしゃべりサロンは、参加者の皆さんがお互いに顔を合わせておしゃべりを楽しいことを目標としています。これからもおしゃべりサロンで皆さんと楽しい時間を過ごしていきます。

是非、多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

健康福祉部
高橋 悦子



手拍子して歌を唄えば、身も心も楽しい

茶臼山 ネイチャーセンター設立

掛田のシンボルは、なんと言っても茶臼山。かつて南北朝時代には、霊山城の守りの出城「懸田城」があり、歴史的にも価値ある山です。また、茶臼山は、桜の名所としてたくさんの観光客が訪れた時代もありましたが、地域づくり部会では、茶臼山に集まる野鳥の種類の多さに注目し、桜の名所とともにバードウォッチポイントという新しい魅力づくりを進めています。

最近、霊山総合支所から地域のための賑わいを創出していくため、霊山総合福祉センター「茶臼の里」のそばにある旧季節保育所を現在進めている茶臼山野鳥の森づくりの施設として使ってみてはどうかというものです。

地域づくり部会がすぐに想起したことは、ネイチャーセンターとしての活用です。施設前の広場に野鳥が好きな実のなる木を植えて、室内から集まる野鳥が実をついば姿を観察する。また、施設の



霊山中央交流館自衛消防訓練

9月25日(木) 14:00から霊山中央交流館自衛消防訓練が行われました。

この訓練は火災が発生した際に、迅速に的確な応急対策をとり、被害を最小限にするため大切な訓練です。

霊山中央交流館自衛消防訓練では、交流館に勤める職員だけでなく、今回は交流館を利用されていた松寿会スポーツ民謡・日向元気作り会の方々にも訓練に参加して頂きました。火災発生から消防署への火災通報、避難誘導、伊達市役所霊山総合支所への連絡を行い、伊達地方消防組合東分署署員の指導の下、消火器を使用した初期消火訓練まで実施しました。

最後に伊達地方消防組合東分署署員から講評を頂き、目的通りの訓練を行うことが出来ました。

環境防災部会部長 小関 義明



中にテーブルや椅子を並べて、研修室にして野鳥の勉強会。参考資料も完備したから、立派なネイチャーセンターになるのではないかと。先日、早速実のなる木を植

樹し、ネイチャーセンターづくりの一步を記しました。

茶臼山野鳥の会会長 丹治 陸雄

イルミネーション点灯式

11月29日(土) 掛田まちなかサロン・ヨッテミでイルミネーション点灯式が行われました。

カウントダウンの掛け声に合わせ、飛び入りのかわいらしいお客さまも加わりスイッチが押された、イルミネーションが一斉に灯されました。

「うわーっ」という歓声と共にトランプットのファンファーレが鳴り響き、会場は華やかな雰囲気につつまれました。

点灯式の後は、ヨッテミ内でトナカイにまたがったサンタクロースに扮したトランプッター・千葉一則さんの演奏があり、イベントを盛り上げてくれました。

地域のコミュニティとしての役割を担っているヨッテミで、地域の方々とのつながりを感じられた楽しいひとときでした。

イルミネーションは1月31日(土)まで。(毎日午後4時30分～9時まで点灯しています。)

ヨッテミスタッフ 渡辺 忍

